



前26003連絡

2026年4月

採血後検体取り扱いに関するお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では正確な検査結果をご報告するため、検査依頼時の内容につきまして、定期的にご案内をさせていただいております。

何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 採血後のお願い

① 転倒混和

生化学採血管内には、凝固促進剤が塗布されておりますので、採血後、直ちに5回程度の転倒混和をお願いいたします。

② 遠心分離までの静置時間

採血後、15分(透析患者様は30分)静置ください。

■ なぜ、静置が必要となるのか

フィブリン析出を回避するためです。

フィブリンとは、血液中のフィブリノゲンが、トロンビンの作用で変化してできる不溶性の繊維状たんぱく質です。血清分離後にフィブリンが析出する場合、自動分注機器や自動分析装置ノズル、電極にフィブリン塊が詰まるでサンプリングエラーが発生し、正確な検査結果を得ることが出来ません。更には、次検体のサンプリングにまで影響を及ぼす可能性があります。

以上